

# 江戸東京たてもの園見学会

小倉市 中村 清(南本町二丁目出身)

前日までの震えるような寒さと冷たい雨が上がり、小春日和のぼかばか陽気となった平成二十三年十一月二十日の日曜日に、Jネットの勉強会として江戸東京博物館分館で、東京都小金井市にある「江戸東京たてもの園」の見学会を行った。

春は桜の花見客でにぎわう小金井公園だが、木々の葉も色付き秋の終りを感じさせる花の少ないこの時期に、駐車場入



口のロータリーなどで三、四メートル程の高さもある皇帝ダリアが薄紫色の見事な花を咲かせていた。

このたてもの園には江戸・明治・大正・昭和の建築物が移築されている。九月に乾物屋(大和屋本店)と旅館(万徳旅館)が新たに移築され三十を越える建築物や塔そして路面電車などが置かれている。

中に入ると、武蔵野の面影を残す林があり右手が東ゾーン、中央がセンターゾーン、左手が西ゾーンになっている。

入口を買けたところにエントランス広場がある。最初は広場右手のセンターゾーンにある高橋是清邸に入り、一階と二階を見学し

た。その後、東ゾーンへ移り化粧品店、荒物屋、文具店、和傘問屋、醬油店、居酒屋、銭湯など昭和初期の建物が並ぶ下町中通りを歩いた。このゾーンの子宝湯(銭湯)や三省堂(さんしょうどう)文具店は、宮崎駿監督のアニメ映画「千と千尋の神隠し」のモデルとなった建物である。また、最近のテレビドラマでは、「神様の女房」や「おひさま」などでもロケで使われた。つい最近まで使われていたり見かけたりしたことのある品物や建物を沢山見ることができた。

東ゾーンを見学したところで少々疲れも出てきたので、正午前ではあったが早目の昼食にした。屋外に置かれているテーブルで、お互いの紹介や会話をしながら持参した弁当や園内で購入した豚汁・すいとんなどを味わいながらお腹を満たした。

午後は、天明家(農家)を見学した後エントランス広場に戻り前川國男邸、田園調布の家(大川邸)、小出邸を見ながら三井八郎右衛門邸まで行き、三井邸は一、二階とも中を見学した。園内最後の見学は、茅葺き屋根の建物で八王子千人同心組頭の家、奄美の高倉、吉野家・綱島家(農家)を見学した。茅葺き屋根の家は休日には囲炉裏を焚くので、この日も薪を燃やし炎と煙が上がり煙の匂いが漂っていた。囲炉裏も懐かしい風情であ



藤沢さん、中村さん、相川さん、早川さん、鏡子(左から)

る。武蔵野の道を歩いてエントランス広場に戻った。道の途中の木々には一本一本名前が書いてあるプレートが付けられておりとても分かり易くて良かった。

今回の参加者は、千葉・神奈川・大田区など遠くから来られた方々なので疲れもピークになっていたが、せつかく来たというところで展示室も見学した。「たてもの園」を出た後、五日市街道沿いにある玉川上水を見学した。木々に隠れるように水が流れ、水の中には沢山の鯉が泳いでいた。玉川上水は江戸の人口増加に伴い、神田上水と溜池で不足する水を補うため、玉川兄弟によって開削された。

羽村の堰で多摩川の水を取り入れ、全長約四十三キロメートルにわたる長い距離の上水である。小金井公園あたりは丁度その中間地点になる。玉川上水を渡ったところで解散となり、玉川上水に沿って少し歩きそれぞれの帰路についた。

「江戸東京たてももの園」は小金井公園の一角にあり、広大な敷地の公園の十分の一以下の面積だが、それでも約七ヘクタールという広さがあり、一つ一つを中まで入ってじっくり見学するには一日はたつぷりかかってしまいそうである。

私は、この春定年退職をして多少時間にゆとりができたことや自宅が小金井公園のすぐ近くということもあり今回初めて参加させていただいた。三時間ほどの散策だったが、天候にも恵まれ晩秋のひとときを有意義に過ごすことができた。

